

四學識經驗アル者

三人

前項第二號第三號ノ規定ニ依ル委員ハ關係府縣市ニ關セザル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ズ

補償審査會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第十一條 都市計畫法第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

特別都市計畫法施行令

(大正拾三年三月拾五)
日勅令第四拾九號

第一條 行政官廳ノ執行スル特別都市計畫事業ニ付關係公共團體ニ負擔セシムル費用ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 道路 (道路ノ附屬物及廣場ヲ含ム) 費 二分一以内
 - 二 運河費 四分一以内
 - 三 公園費 四分一以内
- 前項ノ規定ニ依ル負擔金ノ額及其納付時期等ハ內務大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第二條 特別都市計畫又ハ特別都市計畫事業トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第三條 本令ニ於テ借地權ト稱スルハ借地法ニ謂フ借地權ヲ謂フ

第四條 土地所有者特別都市計畫法第四條第一項ノ規定ニ依リ借地權者ノ同意ヲ得ル場合ニ於テ其ノ所有地ニ數人ノ借地權者アルトキハ其ノ總數ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ共同シテ借地權ヲ有スル者ハ之ヲ一人ト看做シ總數ノ二分ノ一以上ノ同意アリタルトキハ其ノ同意アリタルモノト看做ス

同一ノ土地ニ付借地權者數人アル場合ニ於テハ現ニ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ヲ以テ第一項ノ借地權者ト看做ス

第五條 行政廳又ハ公共團體カ特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ整理施行地區ヲ告示スベシ

第六條 土地區劃整理委員會ハ整理施行地區内ノ土地所有者及借地權者カ各別ニ選舉スル整理委員ヲ以テ之ヲ組織ス

整理委員會ノ定數ハ土地所有者ノ選舉スル者及借地權者ノ選舉スル者ニ付各同數トシ整理施行者之ヲ定ム

整理委員ノ定數ハ選舉期日ヨリ起算シ少クトモ二十日前ニ之ヲ告示スベシ
第七條 土地所有者又ハ借地權者整理委員ヲ選舉スル場合ニ於テハ之ト同數ノ補闕委員ヲ選舉スベシ

第八條 整理委員及補闕委員ハ整理施行地區内ニ於テ土地所有者ニ在リテハ土地所有者ヨリ借地權者ニ在リテハ借地權者ヨリ之ヲ選舉ス
前項ノ規定ハ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ關シ之ヲ適用セズ

第九條 第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ土地ノ共有者又ハ共同シテ借地權ヲ有スル者ハ各之ヲ一人ト看做シ其ノ者ノ中ヨリ定メタル代表者ヲ以テ第一項ノ土地所有者又ハ借地權者ト看做ス

第四條第三項ノ規定ハ第一項ノ借地權者ニ之ニ準用ス
第九條 選舉期日ハ整理施行者之ヲ定メ其ノ日ヨリ起算シ少クトモ二十日前ニ之ヲ告示スベシ

第十條 八條ノ土地所有者及借地權者ハ前條ノ告示アリタル日ヨリ起算シ七日以内ニ住所氏名並權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ具シ整理施行者ニ申告スベシ

前項ノ場合ニ於テ登記ナキ借地權者ハ其ノ權利ヲ證スベキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テ整理施行者ハ土地所有者又ハ登記アル借地權者ニ對シ其ノ權利ヲ證スベキ書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 整理施行者ハ前條ノ申告ニ基キ選舉人名簿ヲ調製シ選舉期日ヨリ起算シ七日前ヨリ三日間之ヲ縦覽ニ供スベシ

第十二條 選舉人名簿ニ異議アル者ハ縦覽期限内ニ證憑書類ヲ添附シ整理施行者ニ之ヲ申出ツベシ

第十條第一項ノ申告後權利ヲ取得シタル者ニ付亦同ジ

第十三條 整理施行者前條ノ異議ノ申立ヲ受ケタルトキハ之ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三日以内ニ之ヲ決定スベシ其ノ申告ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ旨申立人及關係人ニ通知スルト共ニ之ヲ告示スベシ其ノ申立ヲ正當ナラズト決定シタルトキハ其旨申立人ニ通知スベシ

第十四條 整理施行者ハ投票所及投票時間ヲ定メ選舉期日ヨリ起算シ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スベシ

第十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
投票ハ整理委員及補闕委員ノ各選舉ニ付一人一票トス

投票用紙ハ整理施行者選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付ス
選舉人ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ整理委員及補闕委員ニ付被選舉人各一人ノ氏名

ヲ各別ノ投票用紙ニ記載シテ投票スベシ
投票ハ代人ヲ以テ之ヲ爲スコト得此ノ場合ニ於テハ代人ハ本人ノ委任狀ヲ選舉長
ニ提出スベシ

第十六條 選舉人名簿ニ登載セラレザル者ハ投票スルコトヲ得ズ

第十七條 整理施行者ハ所屬ノ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ選舉長ヲ命ズベシ
選舉長ハ投票開票其ノ他ノ選舉ニ關スル事務ヲ統轄ス

整理施行者ハ整理施行地區内ニ於テ選舉資格ヲ有スル者ノ中ヨリ二人ノ立會人ヲ
選任シ投票及開票ニ立合ハスベシ

第十八條 有效投票ノ多數ヲ得タルモノヲ以テ當選人トス得票數同ジキトキハ抽籤
ヲ以テ之ヲ定ム

整理委員トシテ當選シタル者同時ニ補闕委員トシテ當選スルモ補闕委員タルコト
ヲ得ズ

土地所有者ヨリ選舉セラレ當選シタル者同時ニ借地権者ヨリ選舉セラレ當選スル
モ借地権者ヨリ選舉セラレ當選シタル者ニ非ズト看做ス但シ前項ノ規定ノ適用妨
ケズ

第十九條 當選人決定シタルトキハ整理施行者ハ其ノ旨當選人ニ通知シ其氏名ヲ告
示スベシ

當選人前項ノ告示アリタル日ヨリ起算シ五日以内ニ不承諾ノ通知ヲ爲サザルトキ
ハ其ノ當選ヲ承諾シタルモノト看做ス

第二十條 當該選舉ニ於テ定數ノ整理委員ヲ得ザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ更
ニ選舉ヲ行フ

前項ノ選舉法ヲ行フ場合ニ於テハ當該選舉ニ對スル選舉人名簿ニ依リ之ヲ行ヒ選
舉スベキ員數及選舉期日ハ選舉期日ヨリ起算シ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スベシ

第二十一條 整理委員又ハ補闕委員第八條ノ被選舉要件ヲ缺クニ至ルトキハ其資格
ヲ失フ

第二十二條 整理委員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ得票多キ補闕委員ヨリ順次之ヲ補充
ス得票數 ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

整理委員ニ闕員ヲ生ジ之ヲ補充スベキ補闕委員ナキトキハ整理委員及補闕委員ノ
補闕選舉ヲ行フ

第二十三條 整理委員會整理施行者ノ指定スル期間内ニ意見ヲ提出セザルトキハ直
ニ特別都市計畫法第五條ノ事項ヲ決定スルコトヲ得

第二十四條 本令ニ定ムルモノノ外整理委員會ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ
定ム

第二十五條 特別都市計畫法第七條第一項ノ公共ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土

地トハ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ新設又ハ擴張シタ道路、廣場、堤塘、溝渠、運河、河川、公園又ハ公共物揚場ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地ヲ謂フ

第二十六條 前條ノ土地ハ國ニ於テ土地區劃整理施行ニ要スル費用ヲ負擔スル場合ニ在リテハ國ノ所有地、公共團體ニ於テ其ノ費用負擔スル場合（特別都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ費用ノ一部ヲ負擔スル場合ヲ除ク）ニ在リテハ其ノ公共團體ノ所有地ニ編入ス

第二十七條 特別都市計畫法第八條第二項ノ公共ノ用ニ供スル土地トハ地目ノ如何ニ拘ラズ道路、廣場、堤塘、溝渠、運河、河川、公園又ハ公共物揚場ノ用ニ供セラル土地ヲ謂フ

第二十八條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ハ整理施行地ニ付第三十三條ノ告示ノ日ニ於テ所有權、地上權、永小作權又ハ賃借權ヲ有スル者及國有財産法第二十四條ノ規定ニ依リ土地ノ貸付ヲ受クル者ニ對シ之ヲ交付ス
前項ニ規定スル者ハ整理施行者ノ指定スル期間内ニ住所、氏名並權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ具シ整理施行者ニ申告スベシ

第十條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ申告ニ之ヲ準用ス
登記ナキ權利ニ付第二項ノ期間内ニ申告ヲ爲サザル者ニ對シテハ補償金ヲ交付セ

ズ

第二十九條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ハ國又ハ公共團體ニ之ヲ交付セズ

第三十條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ノ總額ハ整理施行前ニ於ケル其ノ地區内ノ宅地ノ平均價格ニ同項ノ規定ニ依ル一割ヲ超ユル部分ノ面積ヲ乘ジタル額トス但前條規定ナシトセバ國又ハ公共團體ニ交付スベキ額ハ之ヲ控除ス

第三十一條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ハ同法第五條ノ規定ニ依リ定メタル配當割合ニ基キ補償審査會之ヲ定ム

第三十二條 公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體カ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ同法第五條ノ規定ニ依ル決定ヲ爲スニ付テハ內務大臣ノ認可ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ耕地整理法第三條第一項及第三十條第三項ノ規定ニ依ル地方長官ノ認可ヲ要セズ

第三十三條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ行政官廳之ニ關シ前條ノ認可ヲ與ヘタルトキハ遲滞ナク之ヲ告示シ且行政官廳處分ヲ爲シタル場合ニ在リテハ既登記ノ土地及建物ニ付登記ヲ囑託シ內務大臣認可ヲ與ヘタル場合ニ在リテハ其旨管轄登記所ニ通知スベシ

第三十四條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於ケル耕地整理法ノ準用ニ付テハ同法第二十九條ノ告示ハ第五條ノ告示、同法第三十條第三項ノ認可ハ第三十二條ノ認可、同法第三十條第四項ノ告示ハ前條ノ告示、同法第四十二條ノ二、第四十七條及第四十八條ノ組合ハ整理施行者タル行政廳又ハ公共團體、同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ整理施行地區トス

第三十五條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テハ耕地整理法ノ準用ニ關シテ整理施行地ニ付所有權以外ノ權利ヲ有スル者ハ之ヲ關係人ト看做ス
第三十六條 耕地整理法第三十三條ノ規定ハ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付未登記ノ所有權以外ノ權利アル土地ニ對スル換地ノ交付爲ス場合ニ之ヲ準用ス但シ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ付テハ第五條ノ告示、都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付テハ都市計畫法施行令第十七條第一項ノ告示、其ノ他ノ土地區劃整理ニ付テハ整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル日ヨリ起算シ十日以内ニ權利者權利ヲ證スヘキ書類ヲ添付シ整理施行者ニ權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ届出サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第三十七條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ特別ノ事

情ノ爲耕地整理法第三十條第一項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ行政廳又ハ公共團體整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムルコト得

第三十八條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理施行ノ土地ノ地價ニ關シ都市計畫法施行令第三十條ノ規定ニ依ル耕地整理法第十三條ノ規定ノ準用ニ付テハ同條中第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積トアルハ特別都市計畫法第七條第一項ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタル土地ノ面積トス
第三十九條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ第三十七條又ハ耕地整理法第二十條第一項但書ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢ヲ滯納スルトキハ整理施行者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取權ノ順位ハ行政官廳ニ於テ徵收スル場合ニ在リテハ國ノ徵收金ニ、公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體ニ於テ徵收スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體ノ徵收金ニ次ク

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

特別都市計畫法施行令細則

(內務省令 第十二號)

特別都市計畫法施行令第二十四條ノ規定ニ依リ土地區劃整理委員會ニ關スル件左ノ

通り定ム

一九四

大正十三年四月二日

内務大臣

水野

鍊太郎

郎

第一條 土地區劃整理委員會ハ整理委員中ヨリ議長及副議長ヲ選舉スヘシ

前項ノ規定ニ依ル選舉ニ付テハ出席委員中ノ年長者議長ノ職務ヲ行フ年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

特別都市計畫法施行令第十八條第一項ノ規定ニ依ル選舉ニ之ヲ準

用ス

第二條 議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議事ヲ整理ス

議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ出席委員中

ノ年長者議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 整理委員會ハ整理施行者之ヲ招集ス

招集ノ通知ハ開會ノ日ヨリ起算シ少クトモ二日前ニ之ヲ爲スハシ但シ急施ヲ要ス

ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

整理委員會ハ整理施行者之ヲ開閉ス

第四條 整理委員會ハ委員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開ク事ヲ得

議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依

第五條 關係官吏又ハ吏員ハ整理委員會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

耕地整理法

(明治四十二年四月十三日)
法律第三十三號

(沿革)

明治四十三年四月
法律第四十四號

大正三年三月
法律第三十二號

大正八年四月
法律第四十五號

改正

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ

本法ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フヲ謂フ

一 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干

拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ

關スル設備若ハ工事

二 前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ

其ノ維持管理

三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利

用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設

四 前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ認許ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

第二條 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ整理施行地ニ付所有權以外ノ登記シタル權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者 土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條 耕地整理ヲ施行セムトスルトキハ設計書ヲ作り關係人ノ同意書竝第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書ヲ添ヘ數人共同シテ施行セムト

スルモノニ在リテハ尙規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ヲ變更シ若ハ一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變更シテ數人共同ノ施行ト爲シ又ハ事業ヲ停止若ハ廢止セムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ耕地整理施行ノ爲爲シタル借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ事業ヲ廢止シ、整理施行地區ヲ減少シ又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更スルコトヲ得ス

前項整理施行地區ノ變更ニ依リ新ニ整理施行地區ニ編入セラルヘキ土地ニ付テハ第一項ノ同意書ニ關スル規定ヲ準用ス

地方長官第一項又ハ第二項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ
設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前五項ノ規定ハ耕地整理組合ニ之ヲ適用セス

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ整理施行地ノ所有者、占有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 整理施行地ノ所有者ニ屬スル耕地整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有權ト

共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第二項ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ帝室及國ヲ除クノ外土地ノ所有者又ハ貸貸人ニ移轉ス

第六條 本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外土地ノ所有者、占有者、關係人其ノ他整理施行地ニ付權利ヲ有スル者ハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第七條 主務大臣、地方長官又ハ郡長耕地整理ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ他人ノ土地ニ立入測量又ハ検査ヲ爲シ障礙ノ竹木土石等ヲ移轉若ハ除却セシムルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ヲ補償スヘシ

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ公告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 前條ノ規定ハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者カ整理施行ノ爲必要ナル準備ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施

行者ハ整理施行地ヲ管轄スル登記所、漁業ニ關スル登録官廳、土地臺帳所管廳、市役所又ハ町村役場ニ就キ無償ニテ耕地整理ニ關シ必要ナル簿書ノ閲覧又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得但シ登記所、漁業ニ關スル登録官廳又ハ土地臺帳所官廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合若ハ耕地整理組合聯合會ノ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第十條 耕地整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

前項ノ規定ハ耕地整理ノ施行ニ伴ヒ大字若ハ字ノ名稱又ハ其ノ區域ニ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルニ依リ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付ス

耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ニシテ前項廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十二條 本法ニ依ル開墾、地目變換其ノ他土地ノ區劃形質ノ變更又ハ道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ變更廢置ニ關シテハ地租條例第十條、第十一條及第十六條乃至第

十九條ノ規定ヲ適用セス埋立地又ハ干拓地ニ付亦同シ

第十三條 耕地整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ整理施行地區内土地ノ現地價ノ合計額ヲ毎年相當ニ配賦シテ之ヲ定ム但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ整理施行地ノ現地價ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ現地價ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ現地價ノ合計額ト看做ス

前項ノ場合ニ於テ地租ノ稅率同一ナラサル土地アルトキハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ合計額ヲ毎年相當ニ配賦シ當該地目ノ稅率ヲ以テ除シタル金額ヲ其ノ配賦地價トス但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス

前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地、埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

整理施行地ノ地租ハ其ノ整理施行地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スル迄從前ノ地域、地目及地價ニ依リ之ヲ徵收ス

規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區ヲ以テ第一項、

第二項及第四項ノ整理施行地區ト看做ス

第十四條 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上

ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原地價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乗シタル額ヲ原地價總額ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス

前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ四十年、變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價据置年期ヲ許可シ年期明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完了迄又ハ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ前條第一項ノ現地價トス

第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ原地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條ノ二 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ六十年、其ノ他ノ土地ニ付テハ二十年ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可ス但シ年期明ニ至リ地味成熟セサルトキハ更ニ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

第十五條 整理施行地區内ノ土地中開墾著手後二十年ヲ經過セサルモノ又ハ地租ノ免除若ハ輕減ニ關スル各種ノ年期ヲ有スルモノアルトキハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

- 一 開墾ヲ爲シタル土地又ハ墾下年期、新開免租年期地價据置年期ヲ有スル土地ハ工事著手ノ際地價ヲ修正シ又ハ設定ス但シ工事完了ノトキニ於テ地價ヲ修正又ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項ノ規定ヲ準用ス
- 二 荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル土地ハ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價 修正ス
- 三 第一號ニ依リ地價ヲ修正シ又ハ設定シタル土地ニ付テハ開墾著手後二十一年目又ハ年期明ニ至リ修正地價又ハ設定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ工事完了

四 工事完了シタルトキハ第一號若ハ第二號ニ記載シタル土地ニ付テハ修正地價又ハ設定地價ヲ以テ第十三條第一項ノ現地價トス

第十六條 工事完了シタルトキニ於テ開墾著手後二十年ヲ經過セサル土地若ハ前條ニ記載スル年期ヲ有スルモノニシテ年期ノ終了セサル土地又ハ第十四條ニ依リ年期ヲ許可シタル土地アルトキハ事業關係者ハ其ノ協議ヲ以テ修正地租ト從前ノ地租トノ差額ノ利益若ハ負擔又ハ地租ノ免除ヲ受クヘキ土地及金額ヲ定メ政府ニ申告シ殘年期間又ハ第十四條ニ依ル年期中ハ其ノ金額ヲ加除シテ其ノ土地ノ地租ヲ納ムヘシ但シ協議一致セサルトキハ政府ニ於テ之ヲ定ム

第十七條 換地ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ之ヲ從前ノ土地ト看做ス

第十八條 賃借地ニ付耕地整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ賃借人ハ整理施行者ニ對シ解除ニ依リ生シタル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得但シ整理施行者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ賃借人ニ對シ求償スルコトヲ得

トヲ得

一〇四

第十九條 耕地整理施行ノ爲賃借地ノ利用ヲ妨ケラルルトキハ賃借人ハ借貸ノ相當ノ減額又ハ前拂シタル借貸ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 耕地整理施行ノ爲著シク賃貸地ノ利用ヲ増シタルトキハ賃借人ハ借貸ノ相當ノ増額ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲シ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

第二十一條 耕地整理施行ノ爲地上權永小作權又ハ地役權ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者、永小作權者又ハ地役權者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 整理施行地ノ上ニ存スル地役權ハ耕地整理施行ノ後仍從前ノ土地ノ上ニ存ス

耕地整理施行ノ爲地役權者カ其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス

耕地整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 第十九條及第二十條ノ規定ハ地上權、永小作權又ハ地役權ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前六條ノ規定ニ依ル賃貸借ノ解除、地上權若ハ永小作權ノ拋棄地役權ノ拋棄若ハ設定又ハ借貸、地代、小作料若ハ地役ノ對價ノ減額、拂戻若ハ増額ノ請求ハ第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二 第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第二十五條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條、第二十八條、第三十條第一項、第二項又ハ第四十四條第二項ノ規定ニ依リ拂渡スヘキ金錢アルトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地又ハ之ニ存スル建物カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

先取特權者、質權者、抵當權者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業権カ登録シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業権又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

登録シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金銭ニ對シテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者カ其ノ事業ノ爲借入レタル金額及其ノ利息其ノ他耕地整理ノ施行ニ依リ生シタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其ノ責ニ任ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス
帝室及國ハ前項ノ責ニ任セス

第二十七條 整理施行者ハ耕地整理施行ノ爲必要アルトキハ整理施行地區内ノ工作物又ハ木石等ヲ移轉シ、除却シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

第二十七條ノ二 整理施行地ニ付漁業権存スル場合ニ於テハ漁業権者ニ對シ漁業権及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業権者及入漁權者ニ對シ整理施行者ハ整理施行ニ

依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業権者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス

整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ著手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ第二十五條ノ二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ第八十八條第三項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託ヲシタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合員ハ耕地整理施行ノ爲受ケタル損害ニ對シ第七條、第八條又ハ第二十七條ノ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 整理施行地ニ付權利ヲ有スル者耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル後ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタルトキハ之ニ關スル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

前項告示ノ後ニ於テ土地ニ付權利ヲ取得シタル者ハ從前ノ權利者ノ爲シ得ヘキ範圍内ニ於テノミ損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 換地ハ從前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付スヘシ但シ地目、面積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金錢ヲ以テ清算スヘシ

特別ノ事情ノ爲前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ規約ノ定ムル所ニ依ル

前二項ノ規定ニ依ル處分ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ

第三十一條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ整理施行地ノ全部ニ付工事完了シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 整理施行地ニ以上ノ市町村大字又ハ字ニ渉ル場合ニ於テ一筆ノ土地ノ區域ハ二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉リテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第三十三條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 本法中土地所有者ノ數ヲ計算セル場合ニ於テハ共有者ハ之ヲ一人ト看做ス但シ共有者ノミ共同シテ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於 第五十條、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第三項中土地ノ面積又ハ地價ハ共有者ノ持分ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ耕地整理ニ關スル書類ノ送附ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ整理施行者又ハ監督官廳カ公告ヲ爲ストキハ其ノ公告ノ日ヲ以テ書類ヲ以テ發送シタルモノト看做シ二十日ヲ經過スルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送附ヲ了リタルモノト看做ス

第三十六條 第三十條第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ整理施行地ハ遲滞ナク既登記ノ土地及建物ニ付登記ヲ申請スヘシ

第三十七條 整理施行地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 共同施行又ハ耕地整理組合ニ依ル耕地整理ノ事業ニシテ郡、市町村又ハ水利組合ニ依リ施行スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ郡、市町村若ハ水利組合ニ引繼キ又ハ耕地整理組合ヲ普通水利組合ニ變更スヘシ

前項ノ規定ニ依ル 繼又ハ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ
第三條第五項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 監督官廳ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ本法ノ規定ニ依ル職權ノ一部ヲ下級監督官廳ニ委任スルコトヲ得

第四十條 本法中府縣、郡、市町村、郡長、市町村長、市役所又ハ町村役場トアルハ府縣制、郡制、市制、町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第四十條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本法ハ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 耕地整理組合

第一款 總 則

第四十一條 耕地整理ヲ施行スル爲必要アルトキハ耕地整理組合ヲ設立スルコトヲ得耕地整理組合ハ法人トス

第四十二條 耕地整理組合ハ整理施行地ヲ以テ其ノ地區トス

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 左ニ掲クル土地ハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ第一號乃至第三號ノ土地ニ付テハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許、第四號乃至第八號ノ土地ニ付テハ土地所有者、關係人及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同

意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラ

一 御料地、國有地

二 官ノ用ニ供スル土地

三 府縣、郡、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

四 名勝地、舊蹟地

五 古墳墓地、墳墓地

六 社寺境内地

七 鐵道用地、軌道用地

八 建物アル宅地

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 特別ノ價值又ハ用途アル土地ハ土地所有者及關係人ノ同意ヲ得ルニ非

サレハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地收用法第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十四條、第五十六條、第五十八條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ前項ノ但書ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ組合ノ設立又ハ地區變更ノ認可ノ告示ヲ以テ土地收用法第十九條ノ規定ニ依ル公

告又ハ通知ト看做ス
第一項但書ノ場合ニ於テ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ其ノ土地ニ付工事ノ施行ヲ拒ムコトヲ得但シ第八十七條第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ其ノ地區内ニ土地ヲ所有スル者ハ總テ之ヲ組合員トス但シ第十一條第一項ノ土地ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス
第四十六條 耕地整理組合ノ名稱中ニハ耕地整理組合ナル文字ヲ用ウヘシ
耕地整理組合ニ非サルモノハ耕地整理組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第四十七條 土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ
前項ノ代表者ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條 前條ノ委任ノ終了ハ組合ニ通知アル迄之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條 第四十七條第一項ノ手續ヲ爲ササル土地共有者ニ對スル書類ノ送附ハ其ノ一人ニ對シ之ヲ發送シタルニ於テ完了シタルモノト看做ス

第二款 組合ノ設立及解散

第五十條 耕地整理組合ヲ設立セムトスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ノ土地所有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ區域内ノ土地ノ總面積及總地價ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ土地所有者中共有者アル場合ニ於テハ各共有地ニ付共有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ持分ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ共有地ニ付同意アリタルモノト看做ス

第五十一條 耕地整理組合ハ前條地方長官ノ認可ニ依リ成立ス

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ組合設立ノ旨ヲ告示スヘシ

組合ハ前項ノ告示アル迄其ノ成立ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 組合設立ニ關スル費用ハ組合設立ノ後組合ノ負擔トス

第五十三條 組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス但シ第二號ノ場合ニ於テ還了セサル組合

債アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二 目的タル事項ノ完成又ハ完成ノ不能
- 三 總會ノ議決

四 合併

五 事業ヲ郡、市町村又ハ水利組合ニ引繼キタルトキ

六 普通水利組合ニ變更シタルトキ

七 組合員一人トナリタルトキ

八 監督官廳ノ處分

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ第三號又ハ第四號ニ該當スルトキヲ除クノ外其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十四條 組合ニ於テ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ爲サルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ組合債ヲ負擔スルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サルハ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務分擔ニ關スル規約ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十五條 組合ノ地區ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合ノ地區ニ編入セラルヘキ土地アルトキハ組合長ハ設計書案及規約案ヲ作り編入區域ノ土地所有者ノ總會議ニ付シ其ノ議決ヲ前條ノ總會ノ議決ニ添付スヘシ

前項ノ總會議ノ議決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者ノ代理人ヲ許スコトヲ得

第五十六條 前條ノ總會議ニ之ヲ準用ス

第五十七條 前條ノ總會議ハ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ之ニ代フル事ヲ得

第五十八條 設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ハ第五十三條第二項又ハ第五十四條第二項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十九條 組合ヲ合併シタルトキハ合併ニ依リ解散シタル組合ニ屬スル權利義務ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ移轉ス

第六十條 組合員一人ト爲リタル爲組解散ノ場合ニ於テハ其ノ事業ハ一切ノ權利義務ト共ニ土地所有者ニ移轉ス

第六十一條 前項ノ土地所有者ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ト看做ス

第六十二條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號第六號又ハ第七號ノ場合

第六十三條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號第六號又ハ第七號ノ場合

ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ

組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三款 組合ノ會議

第六十一條 別ニ規定アルモノノ外左ニ掲クル事項ハ總會ノ表決ヲ經ヘシ

一 第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲ス事

二 組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事

三 經費ノ收支豫算ヲ定ムル事

四 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事

五 組合長、組合副長若ハ評議員ヲ選任シ又ハ解任スル事

六 組合費、夫役現品ノ分賦收入ニ關スル事

七 事業報告書及收支決算書ヲ承認スル事

八 工作物又ハ設備ノ維持管理方法ヲ定ムル事

九 訴願、訴訟及和解ニ關スル事

十 耕地整理組合聯合會ヲ設ケ、聯合會ニ加入シ又ハ聯合會ヲ脫退スル事

十一 規約ニ定メタル事

十二 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第六十二條 總會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ評議員會ニ委任シ又ハ組合長ヲシテ專決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 總會ノ表決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ但シ設計

書、規約若ハ組合地區ノ變更又ハ組合ノ解散若ハ合併ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合長前項ノ處分ヲ爲サトスルトキハ其ノ處分前評議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ評議員ヲ置カサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ組合地區内ノ土地ノ總面積若ハ總地價ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルトキハ組合長ハ十四日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第六十六條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シテ各組合員ニ通知ヲ發スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ期間ヲ二日迄短縮スルコトヲ得

第六十七條 組合員ハ各一個ノ表決權ヲ有ス但シ規約ヲ以テ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超過セサル範圍内ニ於テ一人ニ付二個以上ノ表決權ヲ有セシムルコトヲ得

第六十八條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ表決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十四條又ハ第六十一條第一號、第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得前項ノ規定ニ依リ表決權ヲ行フ者ハ出席者ト看做ス

第七十條 第三十一條但書ノ規定ニ依リ第三十條ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ處分ヲ爲サムトスル土地ニ關スル組合員ノ總會議ヲ以テ總會ト看做ス

第七十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル組合會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得

第七十二條 總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前二條ノ規定ニ依ル組合員ノ總會議又ハ組合會ニ之ヲ準用ス但シ組合會ニ於テハ組合ノ解散又ハ合併ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第四款 組合ノ管理

第七十三條 組合ニ組合長一人及組合副長一人又ハ數人ヲ置ク

組合長又ハ組合副長ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ特別ノ事情アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

組合長、組合副長共ニ關員ト爲リタルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

組合長、組合副長又ハ臨時代理者ノ就任若ハ解任ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十四條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アルトキハ其ノ代理ノ順序ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十六條 組合ニ評議員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル爲地方長官ノ認可ヲ得タルト

キハ此ノ限ニ在ラス

評議員ハ組合員中ヨリヲ選舉ス

評議員ハ組合長ノ諮詢ニ應シ並業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

組合長ハ規約ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲシテ組合ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條 組合長ハ設計書、規約、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ際クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五款 組合ノ財務

第七十八條 組合ノ費用ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

夫役現品ノ分賦及之ニ代ルヘキ金額ニ關スル規定ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 組合員ニシテ組合費、第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

前項ノ場合ニ於テハ組合ハ其ノ徵收金額中百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

第一項ノ徵收金ハ組合地區内ノ土地ニ關シ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキ

モノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

前三項ノ規定ハ組合員カ夫役現品ニ代ルヘキ金錢ヲ滯納スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合ニ於テ負債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ負債ハ起債ノ時ヨリ十五年以内ニ之ヲ還了スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ五十年以内ト爲スコトヲ得

第八十一條 組合ニシテ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ皇室及國ヲ除クノ外組合員ハ之ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二章ノ二 耕地整理組合聯合會

第八十一條ノ二 耕地整理組合ハ登記手續ニ關スル事項ヲ除クノ外其ノ事業ノ一部ヲ他ノ耕地整理組合ト共同シテ行ハムトスル場合ニ於テ之ヲ代リ行ハシムル爲協議ニ依リ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ得テ耕地整理組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

聯合會ハ法人トス

聯合會其ノ所屬組合ノ増減ヲ爲サムトスルトキハ各組合ノ協議ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

聯合會ニ會長一人及副會長一人又ハ數人ヲ置ク

第四十二條ノ二、第四十六條、第五十一條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條第一項、第六十條、第七十三條乃至第七十五條及第七十七條乃至第八十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第五十九條第一項中土地所有者トアルハ組合第七十三條中組員トアルハ聯合會所屬組合ノ組合員トス

第三章 監 督

第八十二條 耕地整理ハ第一次ニ郡長、第二次ニ地方長官、第三次ニ主務大臣之ヲ監督ス但シ整理施行ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市内ニ止ル場合ニ於テハ第一次ニ地方長官第二次ニ主務大臣之ヲ監督ス

第八十三條 主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行爲カ設計書、規約又ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長ヲ解任シ評議員若ハ組合會議員ノ改選、事業ノ停止若ハ組合、組合聯合會ノ解散ヲ命シ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第八十四條 監督官廳ハ整理施行者ヲシテ耕地整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類、帳簿、出納又ハ工 ヲ検査シ、設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 監督官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ認可申請ニ對シ申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第八十六條 第三條ノ規定ニ依ル耕地整理ノ施行者ハ整理施行地區ノ變更ニ異議アル關係人、第四十三條若ハ第四十四條ノ規定ニ違反シタル耕地整理組合ノ地區ニ編入シタル土地ノ所有者若ハ關係人又ハ第三條第二項但書若ハ第五十四條第一項但書ノ規定ニ依リ異議アル債權者ハ各耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可ノ告示、耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示又ハ第三條第四項若ハ第五十四條第二項ノ規定ニ依リ當該事項ノ告示アリタル日ヨリ六十日以内ニ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ裁決アル迄目的タル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ停止スルコトヲ得

第八十七條 第四十四條第二項ノ規定ニ依ル補償金ニ付協議調ハサルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ノ送附ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條ノ二第一項ノ規定ニ依ル補償金ニ付亦前二項ニ同シ

第八十八條 總會議、總會若ハ組合會ノ招集手續若ハ表決カ違法ナル場合ニ於テ之

ニ對シ不服アル者又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員 爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者ハ其ノ表決ノ日ヨリ十四日以内ニ地方長官ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項異議ノ申立アリタル場合ニ於テ監督官廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ利害關係人ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ表決又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ處分ニシテ本法中他ノ條項ニ於テ地方長官ノ告示ヲ必要トスル事項ニ相當スルモノニ付テハ地方長官ハ之ヲ告示スヘシ
整理施行者ハ前項ノ告示アル迄其ノ受ケタル處分ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ監督官廳ノ命令シタル停止處分ノ解除ニ之ヲ準用ス

第四章 罰 則

第九十條 耕地整理施行ニ關シ設ケタル標識ヲ移轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ五拾圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第九十一條ノ二 組合長、組合副長、聯合會會長、聯合會副會長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハルサトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附 則

第九十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十二年十月勅令第二百三十號ヲ以テ同年同月十六日ヨリ施行)

明治三十年法律第三十九號ハ之ヲ廢止ス但シ現ニ土地ノ區劃形狀變更ノ許可ヲ得タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第九十三條 北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ケルコトヲ得

第九十四條 本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ付テハ以

下數條ニ規定スルモノヲ除クノ外舊法ノ規定ヲ適用ス

第九十五條 本法第一條、第二條、第四條、第八條、第十條、第十七條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條、第三十三條、第三十五條乃至第四十條、第七十九條、第八十二條、第八十四條及第八十五條ノ規定ハ本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ之ヲ適用ス

第九十六條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ得タル者ハ發起人又ハ整理委員ノ申請ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法ニ依ル耕地整理組合ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲シタルトキハ耕地整理ニ關スル從前ノ設計書又ハ規約ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ反セサル範圍内ニ於テ本法ノ規定ニ依ル設計書又ハ規約ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル耕地整理組合ハ耕地整理ニ關スル參加土地所有者共同ノ權利義務ヲ承繼ス

第九十七條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法第五十條ノ規定ニ依ル耕地整理組合設立ノ申請ト爲スコトヲ得

第九十八條 舊法又ハ明治三十年法律第三九號ニ依リ爲シタル處分ニ對スル訴訟ニ關シテハ各舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依ル

大正八年法律第四十五號附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正八年六月一日ヨリ施行)

本法施行前第十四條及第十四條ノ二ノ規定ニ依ル許可アリタル土地ニ關シテ仍從前ノ例ニ依ル

大正十三年八月二十日印刷
大正十三年八月二十九日發行

(定價金一圓四十錢)



著者 長谷川一郎

東京市本郷區森川町一番地

發行所 浪江長治郎

東京市芝區田村町十八番地

印刷者 山縣秀

助印堂美秀

發行所

東京市本郷區
森川町帝大前

中屋書

振替東京三三九八八番



發賣所 神田有斐閣 巖松堂

法學士 藤村信雄著 ●四六列上製箱入 全一册六百七十三頁 正價參圓七拾錢郵稅十八錢

人口論「マルサス」説の研究

刻下の問題

總ての人間の現象、その民族的社會的個人的一切の問題は最後に人口運動に制約せらるゝ、本書は古き「マルサス」説を新しき人口及農業統計の中に論證したるもの、人類の總體的運命に付意味深き究明をなすと共にわが民族生活内外の危機に當り根本問題を指してその政策的進路に付重大なる暗示をなす、本邦に於ける有意義なる國民的文獻として敢て江湖に薦む

鐵道省副參事法學士 三輪清一郎著

訂正 四版 貨物引換證之研究 菊判全一册 正價金一圓八十錢 送料六錢

改訂 三版 運送及運送契約論 菊判全二册 正價金五圓七十錢 送料十二錢

訂正 再版 運送狀の理論及運用 菊判全一册 正價金一圓八十錢 送料六錢

東里法學士譯 日本民全譯 獨逸民法 四六列全一册 正價金二圓 送料六錢

發行所

東京本郷川町帝前
振替東京二九八八

中屋書店

147
306

終

